

## 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年3月31日

事業所名       縁berry      

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9		児発の時間帯はスペースが広く使えるようになっている。	
	2 職員の配置数は適切である	8	1		落ち着かない児童がいる時や食事介助の時には足りない事がある為、配置を工夫していきたい。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	1	段差の所はスロープにしていたり、絵や字で表したりと分かりやすくできる様に工夫している。	少しの段差でもつまずいたりすることがある為、安全面にはもう少し少し配慮が必要だと感じる。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7	2	清掃、消毒は欠かさず行い、清潔さを意識している。	マットの下がなかなか清掃できず、方法を検討したい。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	1	毎日、日案を通して申し送りを行い、職員間で共有している。	目標設定と振り返りを明確にする。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1		評価表に基づき、良い所は継続し、改善点はすぐ実践に移せるようにしていく。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	2	ホームページでは公開している。	毎月のお便りの中に、ホームページで公開している事をお伝えする。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	4		第三者の該当者がわからない。第三者から聞く方法を知る。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	3		研修の有無を確認し、感染症対策をして参加できるものがあれば参加していく。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	1	見学シートや基本情報を記入して頂き、それを基にして計画を作成している。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	1	見学シートをアセスメントツールとして使用している。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	1		地域支援について、現段階では難しい面もある為、今後の課題。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8		個々の支援計画に基づいて支援を行うように心がけている。	支援計画の会議等を通して、共通の意識を持って支援していく。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	9		フロアリーダーを中心に案を出し合っている。	意見交換をしながら、多数のアイデアを取り入れていきたい。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9		新しい活動や、発展性がある活動が出来るよう日案を立てている。	子供の特性に応じたプログラムを今後も考えていきたい。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	9		子供の特性に合わせた活動を行えるようにしたり、放デイとの活動ができるような計画を立てている。	今後も特性を見極めながら、その子に合った計画を立てていきたい。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9		毎朝申し送りを行い、活動内容や子供の留意点等話し合い共有している。	今後も申し送り時間の確保は行っていく。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9		その日にあった良い点、疑問点は振り返りとして話し合い、共有に努めている。	小さなことでも伝え合うことを習慣にしていく。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9		利用時は支援記録を記入している。	支援記録を見ることで、職員間で理解に努めていきたい。
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9		年に2回は見直しを行っている。相談員とも調整を行っている。	今後も継続していく。	

## 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年3月31日

事業所名       縁berry      

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9		児発管が必ず参画している。	今後も継続していく。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9		相談員や、子育て支援課の方と連携をとっている。	子育て支援センター等とも連絡をとり、相談等しやすい環境を作っていきたい。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6			医療的ケア児を受け入れる事になった際は努めていく。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	6			医療的ケア児を受け入れる事になった際は努めていく。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9		担当者会議等を通して情報共有を行っている。園への送迎にも情報を共有している。	引き続き関係機関との密な情報共有を行っていきたい。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9		担当者会議等で情報を共有したり、相談員を通して共有を行っている。	引き続き関係機関との密な情報共有を行っていきたい。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8		特性の強い児童に対しては相談、助言等を受けている。	他の事業所と連絡する事をさらに意識していきたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	9			そのような機会がなかなか作れない為、連絡を取りながら設定できるようにしていきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	7		そのような機会がなかなか作れない為、連絡を取りながら設定できるようにしていきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9		送迎時にその日の様子を伝えたり、必要に応じて電話連絡も行っている。	今後も保護者との連絡は定期的に随時行っていく。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	5	4	日々保護者の方に対しては、誠実な対応を行っている。	保護者へ丁寧な対応をしていく上でペアレントトレーニング等専門的な分野も身に付けていきたい。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9		契約時に説明を行い、都度不明点があれば説明を行っている。	分かりやすい説明をしていき、理解しやすい伝え方を提案していく。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9		支援計画は読み上げて確認して頂き、記名押印を頂いている。	保護者と読み合せを行い、理解を共有をして頂けるよう対応していきたい。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9		送迎時や電話にて常に連絡を取り合い支援を行っている。	コロナで面談を控えていたが、対策して面談を行い、直接話をする機会を作る。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	1	年に2回は保護者会を開き、顔を合わせる場を設けている。	感染症対策を行ったうえで保護者会を開催したい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9		相談などにはすぐに対応し、返事もできるだけ早くできるようにしている。判断が難しい内容は責任者が答えるようにしている。	保護者はすぐに返事が欲しいと思うので、早急な対応を今後も心掛けていきたい。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9		月に1回お便りを配布し、予定やお知らせ等を伝えている。	今後も施設内の事が伝わるようなお便りを配布していく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9		個人ファイルの棚には施錠をしている。	施錠は徹底していく。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9		保護者には手紙を書いたり、子供にはジェスチャー等で伝達している。	

## 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年3月31日

事業所名       縁berry      

	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	8		地域と交流できる機会を考え、設定したいきたい。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9		土曜日、長期休み等に、活動内容に取り入れたり、ゲーム感覚で行っている。	マニュアル等、施設内に掲示しているが、しっかり周知されているか不安な所もある為、積極的に発信していきたい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		年に2回以上は行い、消防、警察にも来ていただいている。	今後も継続していく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	9		アセスメントシートに記入をして頂いている。	今後も継続していき、アレルギー対応を行う。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	3	アレルギーについては周知、対応ができています。	医師の指示書は頂いていないので、必要に応じて保護者と連携を取っていきたい。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9		ヒヤリハットのファイルは皆が閲覧できる場所に置いている。	ヒヤリを今後も上げていき、事故防止につなげていきたい。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	1	日々の支援の中で言葉遣いや対応等を注意している。	虐待の研修等があれば積極的に参加していく。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	9		保護者には必ず説明をした上で支援計画に記入している。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。